

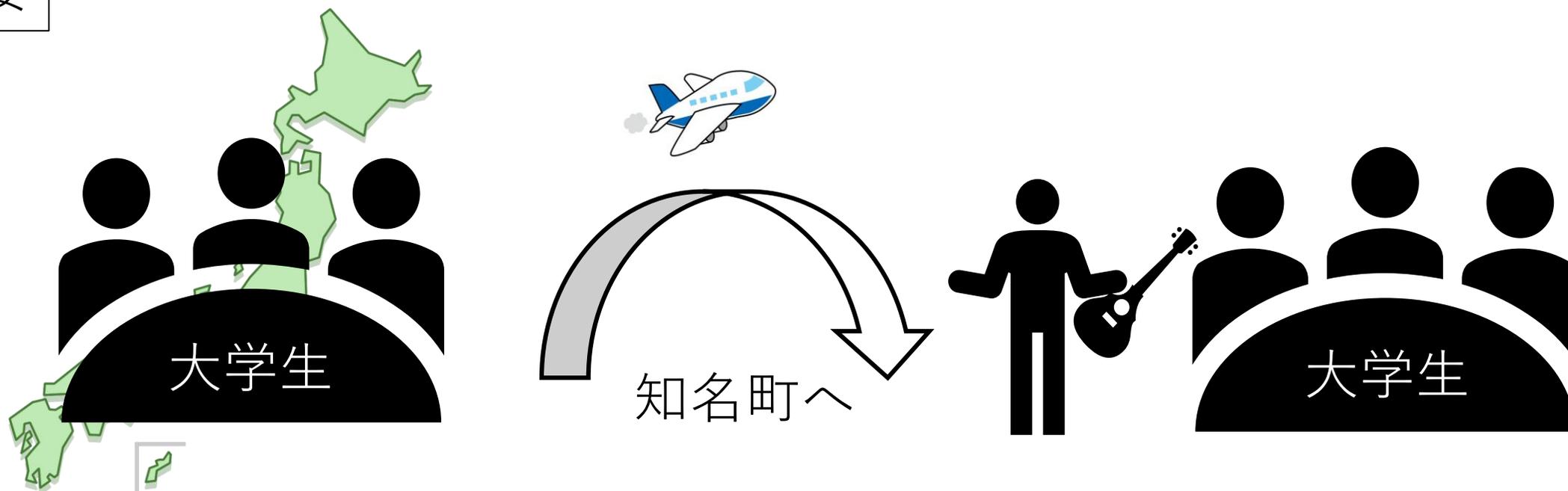
町づくり町民会議

商工グループ

事業概要

滞在型ワークショップ 三味線の旅 (仮称)

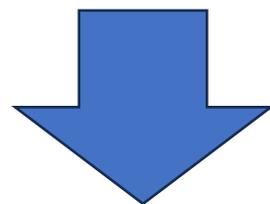
概要



事業概要

滞在型ワークショップ 三味線の旅 (仮称)

概要



三味線や島文化に興味がある大学生を対象とした滞在型のワークショップで、休暇期間を利用して、知名町へ来てもらい、島の歴史や三味線を習うもの。

事業背景

～地域課題～

1. 『人口減少』

- ・ 若年層の流出：若者が島外に進学又は移住し、Uターン者が少ない。
- ・ 高齢化：若年層の流出により出生率が右肩下がり。

2. 『経済の停滞』

- ・ 産業の衰退：新たな雇用・イノベーションが生まれにくい。
- ・ 消費の低迷：人口減少に伴い消費量が低下。

3. 『コミュニティの減少』

- ・ 交流の減少：世代間交流が減少し、風土や慣習の継承が不足。
- ・ 協力体制が弱体化：地元住民とUターン者との連携不足。

事業目的と目標

1. 知名町を知ってもらいたい

『多くの学生に参加してもらおう』

(目標値) ⇒ 6人×年2回 = 12人

交流人口の増加

2. 商店街を活気づけたい

『商店街（地元の方）との交流機会を設ける』

(目標値) ⇒ 商店街への宿泊：6人
バイト受入れ先：5カ所

商店街の活性化

3. 三味線や島の魅力を広めたい

『三味線の歴史や弾き方を教える』

(目標値) ⇒ 1曲以上習得

文化の継承

事業内容①

[実施時期・期間]

夏・冬休暇の時期に実施し、3週間～4週間の滞在（宿泊）を想定。

[募集方法]

チラシを作成し大学へ配布する他、行政や支援機関に協力してもらい、SNSやHPでの周知。募集人数は10人程度。

[交通手段]

基本的には飛行機にて行き来することを想定。沖永良部空港－知名町間は、送迎又はバスを利用。

（課題）… 旅費や町内の交通手段はどうするか？

事業内容②

[宿泊先]

休養村センターを想定。

[知名まちBASE (集いの場)] ※「知名まちBASE」は学生が三味線や歴史を学ぶ場所とする。

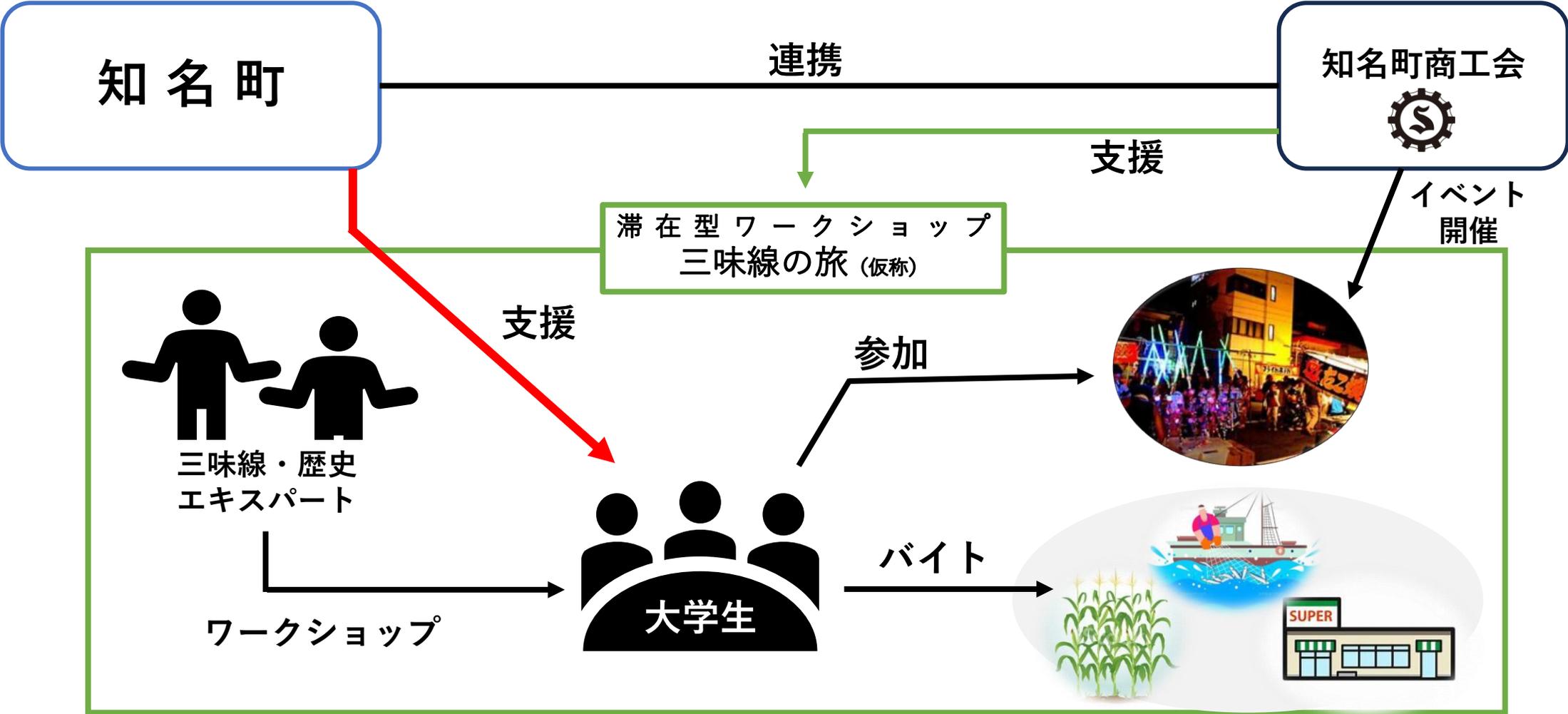
小米商店街の空き店舗を利用し、学生には改装（DIY）を行ってもらおう。

（課題）… 空き家等の改装費や家賃はどうするか？

[交流]

学生がアルバイトを希望する場合は、地元企業（商工業、農水産業）でお手伝い。また、町や字の行事等があれば参加してもらおう予定。（商店街え芋煮会などを企画。）
滞在期間中に三味線の演奏会を設定する予定。

事業体制



事業効果

知名町の
知名度UP

文化の承継

イノベーションの
創出

人手不足の
一時的な解消

商店街の活性化

移住促進

交流人口の増
加

新たなコミュ
ニティの創出

町への要望

1. 参加学生の旅費の助成

多くの学生に参加してもらうためには、旅費の助成が必要と考える。

2. フローラルホテルバス、休養村センターの利用

沖永良部空港から知名町への移動手段が無いため、フローラルホテルの送迎バスを利用させて頂きたい。また、学生が宿泊する予定の休養村センターを利用させて頂きたい。

3. 知名まちBASEの改装費及び家賃の助成

参加した学生の負担軽減のために、本事業のプラットフォームとなる『知名まちBASE』の改装費に対し、助成して頂ければ、本事業の実現可能性が高くなる。（クラウドファンディングも想定。）

まとめ

地域課題の解決は簡単ではないが、学生と知名町を『三味線と歴史』
で結び、知名町の食・文化・自然を若い世代に知ってもらうことで、
少しでも地域課題が解決できればと思い、本事業を提案する。